

職員紹介

広域型特養

介護職員

パート
介護職員



高橋 正幹



原田 則子

よろしくお願いします

ボランティア

お世話になりました!

「シーツ交換」・如月会様

令和二年八月以降、お世話になった地域の皆様、ボランティアの方々をご紹介いたします。

寄付・寄贈

ありがとうございます

善意の寄付に対し心よりお礼申し上げます

・利用者へ金一封

理事長 大倉美知男様より

・感染症対策用衛生消耗品

利用者家族様より



作り方

- ① くじらは短冊に切り、熱湯をかけ余分な脂を落とす。
- ② ごぼうはさがきにして水にさらし、こんにゃく、人参は細かく切り、大根は短冊に切る。
- ③ 窯に研いだ米と同僚の水、①、②と調味料を加えて炊く。
- ④ 炊き上がったら、ざっくり混ぜる。

あさひ園では2月10日に節分祭を開催しましたが当日の昼食は行事食として「くじらご飯」を提供しました。「くじらご飯」は浜田市の郷土料理で、巨大なくじらにあやかって、子供たちが「将来、大物になる」ことを祈って節分の日に食べられています。立春とはいえまだまだ寒いこの時期にくじらの油が体を温めてくれますので皆さんも作って食べてみてください。

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年同様、ご家族様やボランティア等、ご不便をおかけしております。行事委員会広報担当部では、利用者様の日頃の様子や行事の様子、各種情報などできる限り便りまたHPにてお伝えしてまいりますのでご意見、ご要望などありましたら遠慮なくご連絡下さい。本年もよろしくお願いいたします。



行事予定

3月10日(木)、11日
ひなまつり会

4月頃(日程未定)
いちご祭り(予定)

※日時に変更になることがあります

苦情受付

※ご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

苦情解決責任者
施設長 岡崎浩明

苦情受付担当者
生活相談員 麻原拓也

介護支援専門員 佐々木真由美

令和3年2月発行
第81号

社会福祉法人 旭福社会
特別養護老人ホーム あさひ園
〒697-0422
島根県浜田市旭町本郷 362-6
TEL 0855-45-8231
FAX 0855-45-8239
E-mail asahien@iwamicatv.jp
web http://www.asahi-en.com/

令和3年冬号
あさひ園だより

<新年のご挨拶>

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

旧年中は旭福社会に対しまして、ご利用者様並びにご家族様、地域の皆様、行政関係各位からの温かいご支援とご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの流行により福祉施設の運営形態が一変し、感染予防対策の徹底、面会の制限、職員の行動制限等を行ってまいりました。

結果として利用者様ご家族様には大変不便な思いをされたことを申し訳なく思っております。

現在も感染拡大が続いており国民全員に感染蔓延対策として「3つの密」の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生や会食や往來の自粛等が求められています。

今後、経済環境にも大きな影響が出ると思われまますので、少しでも早く終息に向かうよう政府の舵取りに期待をします。

令和3年は3年に一度の介護報酬改定が行われます。

今回の改定は自立支援・重度化防止の推進を重点に、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築の実現を目指しています。

私たちも高齢者福祉に携わる者として「安心・安全な生活の場」「愛され信頼される法人・施設」を目指し、より良いサービスを提供するよう努力してまいるとともに、今年の干支にちなんで、牛歩ではありますが地に足をつけたゆまず進み続けたいと思います。

皆様にとりまして、この新しい年が、より良き年になるよう心より祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホームあさひ園 施設長 岡崎浩明



技能実習生

あさひ園では当法人の掲げる経営理念としての**地域貢献・人材育成**をもとに、**外国人技能実習制度**を利用して日本での介護技術等の習得、母国等への技術移転を目的とした外国人実習生受け入れを行うことでの**国際貢献**、また実習生のみならず介護技術の指導・教育を行うことで職員のスキルアップも図るべく**人材育成**を目的として平成31年から以降5年間、毎年2名ずつ受け入れを行う予定で事業をスタートしました。同年4月には第一期生としてインドネシアより2名の実習生を受け入れました。そして本来はその翌年となる昨年の4月には第二期生として今回来日したセフニさん・ティアラさんの2名を受け入れる予定で準備をすすめていましたが、新型コロナウイルスの世界規模での流行?蔓延?により海外渡航入国・出国制限がなされ、敢え無く断念、延期となりました。その後、感染者数の一時的な減少傾向により10月にはインドネシア等からの技能実習生の入国制限が緩和され、12月に入って当初の予定より約8ヶ月遅れてようやく日本に入国、岡山県で約1ヶ月の研修を経て、今年の1月16日よりあさひ園での実習開始となりました。



『皆さんこんにちは!!私の名前は“セフニ シルピアナ デウィ”です。インドネシアのスラバヤから来ました。23才です。うたを歌う事が好きです。日本のごはんはとてもおいしいです。介護の仕事を一生涯懸命がんばります。よろしくお願いたします。』



『皆さんこんにちは!!私の名前は“ティアラ レザ”です。インドネシアのバンドゥンから来ました。23才です。ダンスが好きです。日本の食べ物はうどんが好きです。優しい介護士になりたいです。日本語の勉強がんばります。』



節分祭

節分の日といえば多くの方が2月3日と思われていますが、今年は暦がずれる影響で124年ぶりに『立春』の日が1日前倒しになる“2月3日”となりました。立春の前日が『節分』となるので今年は“2月2日”が節分の日となりました。

あさひ園では2月10日(水)に『節分祭』を開催しました。

当日は【新型コロナウイルス対策】としてソーシャルディスタンスを守り、午前中は地域密着型特養において、午後は広域型特養において行われました。

地域密着型では職員も一緒に赤・青・黄色などのカラーボールを使って豆まきをしました。その後、鬼と一緒に『鬼のパンツ』体操を行いました。



広域型では赤・青・黄色の鬼に向かって、利用者さんは新聞紙で作った豆を「コロナ外、福は内」と投げられてとても楽しそうな様子でした。その後巨大スクリーンではこれぞ鬼退治!!ということで石見神楽の鑑賞を楽しまれました。



節分の日

節分といえば大豆、柊鱈や最近では七福神にちなんで七種類の具を入れた太巻き(恵方巻)などが定番となっていますが地方では様々な縁起物があるようでここ山陰地方では節分にくじらを食べる風習があります。大きなものを食べて邪気を払い、大きな幸せを得るためだと考えられています。あさひ園では節分祭の当日の昼食に『クジラご飯』と立春を感じさせる『菜の花和え』(厨房だより参照)が提供されました。またおやつ時間には豆にちなんで『甘納豆』と『餡こ(小豆)』菓子が提供され、美味しそうに食べておられました。今後も季節の行事を利用者様と一緒に楽しんでいけたらと思います。

